

ワーキング・グループ（WG）の論点例等（案）

女性に対する暴力に関する専門調査会

重点事項

- ・女性に対する暴力の根絶と人権の尊重

課題例

- ・配偶者からの暴力に関する相談件数や保護命令発令件数は年々増加傾向。
- ・セクシュアル・ハラスメントやストーカー事案に関する事案件数は増加傾向。
- ・パソコンゲームなどバーチャルな分野における性暴力表現等。

具体的な取組等

- 被害者の保護・自立支援策の一層の充実が必要。
- 総合的・効果的に配偶者暴力防止・被害者支援を推進する体制の検討
- 暴力の発生を未然に防ぐため、若年層を対象とした予防啓発が必要
- セクシュアル・ハラスメントやストーカー等更なる行政指導や相談体制の整備の必要
- バーチャルな分野における性暴力表現についてのアプローチ策の検討
- 子どもに対する性暴力への対応

論点例

- 配偶者暴力の被害者の自立に向けた支援策をどのように充実していくか。
- 配偶者からの暴力についての、市町村レベルの取組をどのように推進していくべきか。
- 若年層を対象とした男女間の暴力の予防啓発をどのように拡充していくか。
- 国際社会でも問題視されているバーチャルな分野における性暴力の表現について、どのようなアプローチが可能か。
- 子どもに対する性暴力への対応をどのように進めていくべきか。
- 配偶者暴力防止や被害者支援を総合的・効果的に進めるために、現在の体制を見直す必要はないか。
- 女性に対する暴力の根絶に向けて効果的な広報・意識啓発のあり方について
- 性犯罪被害者のプライバシー保護や2次被害防止をどのように図っていくか。



取組を推進することで想定される将来像

○人権の尊重

- ・女性一人ひとりの人権が尊重される。
- ・男女間の平等なパートナーシップの構築により、男女がともに尊重しあえる社会が実現する。

○個人の能力発揮、経済社会の活性化

- ・被害者の保護、自立支援策が進むこと、また暴力の発生を未然に防ぐことにより、それぞれの個性や能力を発揮できるようになる。

○多様性の確保

- ・被害者の保護、自立支援策が進むこと、また暴力の発生を未然に防ぐことにより、人々のより多様な生き方が可能になる。

○持続可能な安心安全な社会

- ・家庭、地域、社会が相互に協力・連携して、女性に対する暴力を予防し、被害者を保護・支援するための対策が充実する。
- ・女性や子どもに対するあらゆる暴力が根絶され、安心安全に暮らすことができる社会が実現する。